

# 北青会

52<sup>nd</sup>

HOKUSEIKAI since 1961

vol. 210

今期テーマ

## 「不撓不屈」

社団法人 北九州青年経営者会議



〒806-0006  
北九州市八幡西区屋敷2丁目14-34  
TEL(093)863-0157  
FAX(093)863-0404  
E-mail : mail@hokuseikai.com  
URL : http://www.hokuseikai.com



## 会長挨拶

第52期会長 入船 崇志 (52期)

社団法人北九州青年経営者会議第52期会長の務めさせて頂きます入船崇志と申します。会員として残された最後の1年にこのような大役を務めさせて頂けることは光栄至極であります。一方で当会の51年という歴史の重さ、私たちに寄せられる期待の大きさを考えますと、改めてその重責に身が引き締まる思いです。

現代していくことで「ふるさと北九州」の活性化に貢献致す所存です。そのなかで一つ、本年7月、八幡西区に新しい市立図書館、そして多目的ホール「黒崎ひびしんホール」が誕生致します。当会では今期中に、地域活性化と合わせ、この施設の誕生を祝い、またその後の積極的活用を促すとともに、いよいよ来年に迫りました北九州市制50周年を広く告知することを目的としたイベントを、同ホール及び周辺地域に於いて是非開催させて頂きたいと考えております。詳細につきましては4月の総会以降ご案内させて頂く予定です。皆様どうぞご期待下さい。私たちが生きる時勢はまさしく逆風、会員のみに

まず、今期もこれまでと同様に、関係諸団体をはじめとした地域社会の皆様との繋がりを大切に、またより一層密な連携を図りながら、当会の頼もしい仲間たちとともに、今日に至るまで私たちを温かく見守り、育てて頂いた皆様に対する感謝の気持ちを一つずつ具

ならず多くの経営者が「深淵に臨んで薄氷を履むが如し」厳しい経営環境のなかで如何に発展を遂げるか苦心惨憺していることと思います。しかし、幸いなことに私たちには「若さ」があります。これは何れにも代え難い最強の武器であります。あと必要なものは、どんな困難にも挫けずに立ち向かう強い精神力、言い換えれば「気概」ではないでしょうか。「若さ」と「気概」、私はこの二つこそが不透明な前途を照らす一筋の光明。この局面を飛躍のチャンスに変えるための鍵となる、そう確信致しております。

この思いを込め、私は今期の活動テーマを「不撓不屈」と致しました。今期が会員一人ひとりに

とりまして「自身の成長が当会、北九州、さらにはわが国の発展、そして勿論、東日本大震災の復興にも直結している」ということを改めて自覚するとともに、本質を見極める力を備えた経営者、社会人への成長、即ち「真の自立」を促す1年となり、またその一方でこの時勢を存分に楽しみながら各々の仕事や当会の活動に邁進できますよう、私はそのリーダーとして、まず自らが率先して不撓不屈の精神を貫き、気概をもってその責務を果たす覚悟でございますので、会員諸君にはご理解とご協力を、そして敬愛するOB、地域社会の皆様には、今期もこれまでと同様のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

# 52 期 新理事・幹部あいさつ



副会長  
阿部 達  
(52期)

52期副会長を拝命させていただきました。阿部達でございます。入船新会長を支え、今までお世話になった北青会に、少しでもお役に立ちたいと思います。

10年前に北青会に入会させていただいた時、三役といえどびえ立つアルプスのように、自分の心の中で大きな存在感がありました。三役の方が目の前に居られると、お話をしたいが、その存在感到圧倒されてなかなか声がけできずにモジモジしておりましたら、その先輩方からお声がけをいただき、うれしかったです。またそこには大きな安心感がありました。

今、自分が今回で4回目に当たる理事(三役)、副会長を卒業期にさせていただくにつきましては自らを振り返ると、入会当時に強烈な印象をいただいた先輩方のように、自己研鑽が出来ていないと深く反省しております。しかしそのような自分ではありますが、少しでもお役に立てるように努めますので、何卒よろしく願いたします。



副会長  
末広 崇  
(52期)

52期副会長を務めさせていただきます。末広崇と申します。

副会長として現役最終期となる私が当期にやるべき課題は「意志の伝達」です。同期である入船新会長のビジョンはもちろんのこと、現役会員ひとりひとりの意志を理解し、副会長としてその志を全会員が共有できる環境をつくるための橋渡しができれば、事業の質の向上、会員ひとりひとりのスキルアップにつながるかと考えております。

副会長としての業務を理解しているつもりですが、初の理事就任ということもあり、まだまだ勉強不足が否めません。今期一年間不撓不屈の精神で邁進する所存ですので皆様ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



副会長  
松尾 智章  
(53期)

第52期の副会長を仰せつかりました松尾智章です。

昨年は専務理事として当会の重要な役回りをさせて頂きました。3月11日の震災の発生から北青会も東北を応援しようとする様々な事業を行いました。その事業を運営する中で、専務理事としてきちっと管理をしないといけない部分や、他の理事やOBとの調整など多くの仕事を覚えることができました。

本年は副会長という立場ですが、担当する起業祭おどりや、今期の専務理事である上野将之君のサポートを行っていきたいと思います。

今期は公益法人を目指すかどうかの最終判断もしなければならぬ一年です。昨年に続き、北青会が大きく変化するきっかけとなる年になると思います。

より良い会を目指してがんばっていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。



専務理事  
上野 将之  
(54期)

第52期専務理事を務めさせていただきます。上野将之です。

私が北青会に入会したのは第49期の3月であり、まだ2年しか経っておりません。そのため、専務理事にとの言葉を頂戴したときは、この大役を引き受けるかどうか非常に悩みました。

しかし、お声をかけていただいたのも何かの縁であり、そこから逃げることはすまいと決心し、引き受けることにしました。

昨年は、事務局次長として、理事の方々の間で会の運営方法について学ぶことができましたので、今期、それを活かしていきたいと思っています。専務理事の大切な仕事は、会内を一つにまとめ、会の運営をスムーズにすることと考えます。

入船新会長のもと会を一致団結させ、北青会の全ての事業が滞りなく運営されるよう、全身全霊をかけこの大役を全うしていく所存です。

未熟であるため、皆様には何かとご迷惑をおかけすることがあると思いますが、ご協力の程、何卒、宜しくお願い申し上げます。



常務理事  
福島 寛  
(55期)

今期、常務理事を務めさせていただきます。55期 福島寛と申します。どうぞよろしくお願い致します。私が北青会に入会させて頂いたのは北青会期の39期、今から12年前のことになります。入会当初は何もわからず、会の中でしばらく最年少でしたのでなかなかとけこめず不安な北青会活動を送っていましたが、先輩方に支えられ何とか続けてこられたというのが正直な思いでした。そんな私が12年の歳月を経て常務理事を務めさせていただくとは、感慨深いものがあります。

常務理事をお受けするに当たり、先輩方に常務理事の役割をお伺いすると「理事と会員のかけはし」ということでした。また、会則により「専務理事の補佐」となっておりますので、現役会員の皆様の意見をしっかりと聞き理事の皆様にお伝えし、専務理事をサポートしなければと決意致しております。

現在の北青会にとりまして直近の課題は、会員の増強です。経済状況の厳しい中、新入会員の獲得はもとより、在籍中の会員満足度をさらに高いものにしていかなければ北青会の今後の発展はないと考えております。私にとりまして今期の北青会は、現役会員の皆様との「絆」を強固なものとし、現役会員の皆様が北青会の素晴らしさを一つでも多く実感していただけるよう努めなければならぬ一年と考えております。入船新会長が掲げられた今期のテーマ、「不撓不屈」の精神で一年間北青会活動に邁進する決意でございます。皆様方のご支援を心よりお願い申し上げます。



市制50周年準備委員長  
坂上 慎一  
(53期)

この度、52期市制50周年記念事業準備委員長を務めさせていただきます。まず、坂上慎一です。よろしく願い申し上げます。

昨年は、東日本大震災に対する支援事業をOBの諸先輩方と共に一年間を通じて色々な試みをやり遂げてまいりました。常務理事という立場で北青会の運営に携わり理事・幹部の皆様、そして会員の皆様に沢山の事を学ばせていただきました。強い信念・思いを持って事業にあたることが大切な事だと学びました。本年、私は市制50周年記念事業の準備委員長として、プレイベントと来年の本イベントに向けて準備を始めさせていただきます。市制50周年記念事業は、「八幡の街に元気を」と北九州に北青会ありと地域の皆様に言っていただけの事業を展開していく予定であります。強い信念と意思をもって精一杯やってみますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

一人では、何もすることは出来ません。沢山の仲間が私達にはいます。会員一人々が知恵を絞り、力を合せて良い北青会をつくり上げていきましょう。



事務局長  
渡部 雅孝  
(52期)

今期、事務局長を務めさせていただきます。52期の渡部雅孝と申します。

昨年に引き続き、自分自身の最終期でもあるこの52期に、事務局長の役を頂き、入船新会長をはじめ理事の皆さまには大変感謝いたしております。

一昨年から事務局の仕事に携わることで、OB会員の皆様・現役会員との交流も深くなり、あらためて五年間の私自身短い北青会活動の中で、最終期を含む三年間を事務局として仕事をさせて頂くことにやりがいと喜びを感じております。

今期は事務員さんも新しくなり、ますます事務局としても仕事が一歩になります。事務局全員で入船新会長、理事の皆さんを陰ながらですが、全力でサポートし、会の運営をスムーズに進めて行きたいと考えております。

私自身、今年も全ての事に感謝をし、ポジティブ発想を忘れず邁進して行きたいと思っておりますので、どうぞ1年間よろしくお願い致します。



## 社会貢献委員会

委員長 内 平 哲 美

52期社会貢献委員長になりました内平哲美と申します。

社会貢献委員会は北青会在籍期間の長い私にとって、最も思い入れの強い委員会です。短時間の間にイベント企画を出し合い、成功に向かって委員会全員が協力し、そして、全会員、他団体を巻き込み事業を行うという、他の委員会にはない面白さがあります。イベント本数も他の委員会よりも多く、大変な面はありますが、これまで、それ以上の感動を得ることができました。また、泉谷しげる氏を招いての9月に行われる黒崎ひびしんホールイベントも当委員会が担当させていただけることになり、不安と共に高揚感に満ちたスタートとなります。必ずや全事業を成功させ、北青会の歴史に恥じない働きを会員と共に進めたいと思っております。

今期一年間ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 例会運営委員会

委員長 野 田 昇 一 (52期)

この度、第52期の例会運営委員長を仰せつかりました、野田昇一と申します。

私は2007年に入会し、早いもので5年もの歳月が過ぎて往きました。そして『卒業まであと1年』という最後の年に、この大役を任された事は大変な栄誉であるとともに、重責でもあり、身の引き締まる思いです。

当委員会は、会の根幹となる『例会』事業を企画・運営する重要な部署であります。経験不足の委員長をサポートすべく、副委員長・委員には頼もしい仲間が集って頂きました。このメンバーと会員の皆様のお力をお借りして、有意義でより良い例会の開催・運営に貢献し、さらには出席率100%例会が達成できる事を目標とし、取り組んで参ります。

与えられた責務を誠心努力する所存です。諸先輩方のご指導・ご鞭撻、会員の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 活性化委員会

委員長 黒 木 健 作 (53期)

この度、52期活性化委員長を務めさせて頂きました。黒木健作です。

前期も本田委員長のもと活性化委員会の副委員長を務めさせて頂きました。

今期は委員長として前期の反省点も踏まえつつ、努力していこうと思っております。

活性化委員会というのは、北青会の活性化を進め、OBや会員や家族の為に企画、運営を行います。北青会の活性化の中で、例年最も苦労しているのは新入会員の獲得です。

北青会は40歳で卒業という事もあり、常に若手の経営者を求めています。

この景気低迷の中、増員は難しい状況ではありますが、地元若の経営者に声をかけ北青会を知ってもらい少しでも増員を目指したいと思っております。会員増強は活性化委員会だけではなく、全ての会員の力がなければ難しい事と思っております。活性化委員会もがんばりますが、皆様方のご協力も必要でありますので、宜しくお願い致します。

また、夏のイベントやクリスマス例会などのコミュニケーションの企画も、皆様楽しんで頂けるように企画したいと思っております。

52期入船新会長を先頭に、担当理事の末広副会長、金林・下村両副委員長、活性化委員の全員と共に頑張っていきたいと思っております。

1年間宜しくお願い致します。



## 地域交流委員会

委員長 立 石 義 勇 (52期)

52期地域交流委員会の委員長を務めさせて頂きました、立石義勇です。

いよいよ52期の私たちにとって北青会最後の年になりました。私自身、入会3年目ですが、1年目は50周年事業の中でイベント企画委員会、前期は例会運営委員会の副委員長をさせて頂きました。慣れない中皆さんに御迷惑をかけたこともあったとは思いますが、私なりに率先して事業や担当委員会を務めさせて頂きました。そのおかげで北青会に打ち解け、色んな事を学びました。

入会2年目にして、今期は地域交流委員会の委員長をさせて頂くことになり、最終期に大役を請け負い、不安もありますが同期の仲間や会員の力を借りながら精一杯やっていこうと思います。主幹事業である起業祭おどりでは、運営マネージャーという立場に身の引き締まる思いであります。基本事業にも私なりにアレンジを加えてやっていこうと思います。

最後の1年、悔いのないよう頑張っていきたいと思いますので皆様御協力の程、よろしくお願い致します。



## 広報メディア委員会

委員長 松 田 正 (52期)

52期広報メディア委員会の委員長を務めさせて頂きました松田正と申します。

東日本大震災発生より1年が経過しましたが、復興の様子は芳しいものではありません。一日も早い復興を心より願っております。

私が務めさせて頂きます広報メディア委員会は会報誌の発行、ホームページや各メディアを通じて会の活動内容を幅広く伝えていくことが役目となります。北青会には様々な委員会があり、それぞれに役割をもっています。その全ての活動内容を関係諸団体をはじめ北九州の市民の方々に伝え、もっと北青会を認知していただける様務めて参ります。

私の北青会活動も最終年となり、この委員会の責任の重さを感じておりますが、一致団結すれば成し遂げられない事は無いという事も今までの会の活動の中で学んできました。

この1年間、北青会の熱い気持ちを不撓不屈の精神を持って、精一杯伝えていきますので、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## 新年例会

例会運営委員会 杉 本 生

(53期)

平成24年1月18日に、新年例会を行いました。

多数のご来賓やOB会員の方々にご臨席賜りましたことを心より感謝申し上げます。

例会運営委員会である私は、OBの先輩方と現役会員を含めた総勢160名あまりの皆様を前に、司会という大役を仰せつかりました。

このお話をいただいたときには、不安に押しつぶされそうになりましたが、皆様の前に立つと不思議と不安もなくなり、気合を入れて無事に務めさせていただくことができました。

できました。これも皆様のご協力とご支援の賜物だと感謝しております。

52期の理事・幹部の紹介では、入船新会長を含め壇上の全員が決意に満ちた引き締まった表情をしていたことが印象的でした。

北青会に入会していなければ、このような大勢の方々を前にして司会をさせていただくという経験はできませんでした。今後も私にできることを積極的な姿勢で取り組み糧にしていきたいと思っています。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



## 2月例会

卒業生記念講演

例会運営委員会

杉 山 和 章

(65期)

去る2月8日(水)

千草ホテルにて2月例会が行われました。

2月例会は毎年恒例の、卒業される先輩方の卒業記念講演例会を行っています。

今回、御講演頂きましたのは5人の先輩方です。

トップバッターは、伊藤先輩で、北青会に入会した経緯や入会して感じた事、後輩に伝えておきたい事等を御講演頂きました。

2番目に御講演頂いたのは、上野会長です。長く北青会に在籍されていた会長が、在籍期間中に起こった出来事・北青会委員会の様子等予定時間を大幅に超えて、熱く語って頂きました。次は本田先輩で、現役時代に体験したOB・現役対抗ソフトボール大会等について熱く語って頂きました。

三木先輩は、9月11日に行ったチャリティーフェスタの担当委員長としての苦労話や成功に向けての思いその他社会貢献委員会の事業等について熱く語って頂きました。

最後は藤高先輩で北青会に入会して思った事や北青会への思いを熱く語って頂きました。皆様貴重なお話を有難うございました。



## オリエンテーション

活性化委員会 副委員長

永 友 稔

(57期)

平成24年2月21日(火)に太田OBの経営する黒崎の朝菜夕魚さんに於いて新入会員オリエンテーションを行いました。足元も悪くまたお忙しい中、小田OB会長をはじめ5名のOB会役員にもご参加いただき本当にありがとうございました。

新入会員も緊張した面持ちでしたが、それぞれに個性あふれる自己紹介をしていました。普段とは一味違った雰囲気の中、新入会員とOBの先輩方がゆっくりとお話できたのではないのでしょうか。新入会員の皆様にはこのオリエンテーションを期に、より一層北青会になじんでいただき、積極的に事業やイベントに参加していただければと思います。

最後になりますが、皆様方のご協力のおかげで51期活性化委員会の事業を無事に終えることができました。至らない点も多数あったとは思いますが、本田委員長を中心に限られた予算の中で、皆様に少しでも楽しんでいただけたよう邁進してまいりました。この経験を活かし、52期は不撓不屈の精神で北青会活動に励んでいきたいと思っています。



## 聖小崎ホームにて

社会貢献委員会 鶴戸成将(57期)

2月18日に聖小崎ホームにて、食育をテーマにした料理教室と、竹とんぼ作りを行いました。

料理教室では、渡部(圭) 会員指導のもと、実際に子供達に魚をさばいてもらいました。魚を触ったことのない子供達がほとんどでしたが、とても興味をもって取組んでくれました。中には大人顔負けの包丁さばきをする子供もいて、こちらが驚かされました。

竹とんぼ作りは、小さな子供には難しいのではないかと思っていました。立石会員指導のもと、お兄さん、お姉さんに手伝ってもらいながら見事に完成させていました。

実際に竹とんぼをグラウンドで飛ばしたときの子供達のうれしそうな表情がとても印象的でした。

このような、イベントを通して北青会事業に携わることはとても光栄であり、これからも様々な事業に関わっていききたいと思いました。



## 地域の清掃・防犯パトロール

地域交流委員会 小田泰三(62期)

去る2月23日に黒崎にて51期最後となる恒例の「地域の清掃・防犯パトロール」を行いました。

51期より防犯パトロールに清掃活動をプラスすることにより、参加する会員達のモチベーションも一層向上し、微力ながら地域に見える形で貢献できているという満足感を得られる事業へと進化させることができました。



年に数回の活動ですが、今後ともこの事業はぜひ継続し、黒崎がみんなに好きになってもらえる街へと変わるきっかけになればと思っています。



## クリーンアップ大作戦

地域交流委員会副委員長

杉本雄一(56期)

3月18日、小雨の降る中、打ち捨てられたごみ、と様々な会員21名、子供4名で八幡西なごみが集まる中で、会員と区城山地区の清掃活動を目的とした、第3回クリーンアップ大作戦を行いました。

あいにくの天候で活動が危ぶまれる中、上野会長の「よし、やるう。」の一声で清掃活動を開始しました。

2時間という限られた時間で、たばこの吸い殻、食事の後のごみ、不法投棄であろう

ごみ拾いをしていて、姿に、こういう活動が市民全体に広がれば、また少しより良い街になると感じました。

朝早く小雨の降る中、参加



## 味取会

幹事 牧 裕高(55期)

味取会の牧裕高です。

味取会は毎月20日19時より評判のお店で開催しています。美味しい料理をOBの先輩方と現役会員とが囲み、和気藹々とした雰囲気がある会場で、身の上話から宇宙工学にいたるまで話題満載です。

1月に今年最初の味取会を二鶴寿司で開催し、珍しいスッポン鍋を食べべお肌ツヤツヤ元氣ハツラツに、2月は食い鍋や(53期杉本会員のお店)で豪華なもつ鍋と新鮮なお刺身、そしてピザを頂きました。

味取会は、随時、会員・オブザーバーを募集していますので興味のある方は幹事の牧までご連絡をお願いします。



## 反省会

例会運営委員会

柏木 創 (53期)

平成24年3月23日に千草ホテルにて、51期最終卒業例会（反省会）を行いました。

51期の先輩の皆様ご卒業おめでとうございます。

私事ではございますが、初の反省会と初の司会と初めてのことがかりでした。慣れない司会ではありましたが、無事に終えることができました。

御卒業される51期の先輩方も、北青会での思い出話を肴にOBの先輩方や、現役会員と大いにお酒を召し上がっていらつしました。

今回、最初の上野会長のお言葉が忘れられません。

「本当におめでとうなのか？ 本当に卒業するのか？」

司会をしながら何度もおめでとうございます

とは言いつつも、複雑

な心境でした。51期の

先輩方の北青会への熱

い思いは、OBの先輩

方、私たち現役会員に

も伝わりました。私も

あと2年で卒業です。

その時に51期の先輩

方の気持ちに、少し

でも近付けるように

残りの北青会活動を

頑張っていきたいと

思います。

最後になりました

が、51期の先輩の皆様

今まで有難う御座い

ました。

卒業されてからも、

寛大な心で現役会員



## 厄払い

厄払い当番期

中西 享 嗣 (56期)

去る1月29日、黒崎の岡田神社に於いて北青会恒例の厄払い神事を執り行いました。

今年の本厄対象者はOBの50期より田

中OB・山本OB、現役より上野会長・

伊藤副会長・三木委員長・本田委員長・

藤高会員、新上会員、後厄対象者は50期

OBの先輩方、前厄対象者は52期の皆さ

んでした。

当日は私の不手際で御案内が遅れ、参

加できない先輩方もいて大変ご迷惑をお

かけしまして反省しております。

例年と同じく寒い中での厄払いとなり



まして、まずは厄払いを受けた皆さんにはお願い事を絵馬に書いて頂き奉納、その後に本厄の皆さんによる植樹をおこない、場所を「はつしろ黒崎店」に移しての宴会となりました。

話には聞いていた、「恒例の金杯回し飲み」もおこない、終始笑い声の絶えない中、無事に終了致しました。

今回、当番幹事として参加させて頂きましたが、「北青会の厄払い」も伝統ある行事のひとつなのだと実感させられました。

次期幹事の57期・59期にしっかりと

引き継ぎたいと思います。

本当にありがとうございました。

## ゴルフ会

幹事

重光 浩 臣 (59期)

平成24年3月10日と

11日の2日間で持ち出

しゴルフ会が開催されました。今年の行

き先は昨年好評だった『パシフィックブ

ルー&リゾート国東』です。この魅力

といえば海が一望できるコースと食事の

美味しさにあります。そして、「えっ!!!」

と思うようなお得感いっぱい料金で、

御参加の皆様には昨年同様に御満足頂い

たようでした。そんなことはさておき、

プレーの方を語らせていただきますと、

初日は練習ということでOB班と現役班



で分かれてコースを入念にチェックしました。ちなみに私はチェックと言いながらもボールを追いつけて走り回っていました。昨年もプレーをしたのに全然覚えていないとは…。

2日目は、本番ということで全力でプレーしました。練習の成果を発揮するためにクラブとボールに魂を込めて挑みました。その結果はOUT 67・IN 56でいつもと変わらず…と言いますかいつもより悪すぎ(涙)次回も頑張ります。そして、優勝者は宮崎OB(ゴルフ会会長)でした。おめでとうございます。ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。

4月は毎年40名以上が参加する「親睦ゴルフ大会」と併合で行いますので、たくさんのご参加お待ちしております。よろしく願いいたします。

## 新入会員 あいさつ

江口 真永 (64期)

この度、北青会に入会させて頂きました江口

真永と申します。

ビジネスを含め、人生

で起こる多くの事は、人

とのご縁によって引き起

こされ、変化していくも

のだと思います。

北青会入会を機に社会活動等、人々との交流を通じてその変化を機会に変え刺激ある人生にしたいです。

まだまだ人生経験も乏しく、未熟な私ですがご指導ご鞭撻の程をよろしくお願い致します。



上野秀信(51期)

「卒業? んっ?」とうとう私にも、やって来た卒業、北青会は20、40歳まで在籍できる会である。

当たり前の事だが40歳で出て行かなくてはならない。23才で入会して足掛け17年在籍、その長い年月を言葉にたとえると、僕の場合当てはまる言葉は「細く長く」ではないかな(笑) 本当に長い間、お世話になりました。今は感謝してもしきれない思いで、胸が一杯です。

何か最後に残す言葉はと考えますが、やはりこの言葉しか思いつきません。

「北青会は40歳までの会、この中でいくらかでも失敗すればいい、同じ仲間が助けてくれる、しかし、この経験を後に活かし、肥やしにして、また失敗を恐れずにチャレンジすればいい、それで北青会に恩返しすればいい、卒業して40歳を過ぎての失敗は許されぬ、ましてや北青会を卒業して、己の社業の中で経営に順ずるものとしては」

この会は、皆が同じ立場で分け隔てなく、平等に行動できる会であります。この中で、おもいつきり学べば良いのです。

最後になりましたが、在籍中は大変お世話になりました。「本当に本当に、ありがとうございました。」最終期には、会長職までさせていだいて、この場を借りまして御礼申し上げます。これも偏に、皆さんの協力が無ければなし得なかったことだと思います。だから、北青会は素晴らしい!! 後輩諸君!! 細く長くとも、太く短くとも、北青会の仲間達と立ち止まる事無く進むべき道を「勇往邁進」して新たな道を切り開いて行ってください。OBになっても応援しているぜ!

「がんばれ北青会!! ありがとう北青会!!」



伊藤泰昭(51期)

46期2月例会にオブザーバーで参加し、二次会で入会を決意しましたので、僅か5年間の在籍でした。一般会員、役員、三役、最終期には副会長を経験しました。私が入会した頃と現在では、入会の動機や、新入会員の雰囲気が変わってきているような気がします。北青会らしさは変わりませんが。

例会では、前に座ってニコニコしていただけたかもしれませんが、つくづく実感したことは、「北青会の歴史は現役が創っていく」ということです。会員数の問題もありますが、今現在の会員が会を盛りたてていくこと、役員、そして三役がそのような環境を作り出すことが大事だと考えます。逆に、恐れなくてはいいけないモノは「毎年やっていることだから」という『慣れ』や『前例主義』です。

新入会員や一般会員に「?」であることを、「北青会だから」等の一言で片付けてしまうのは危険です。どうしてそのように感じるのか、考えるのか、確認をし、今一度、自分でも考え直してみてください。確かに、期が上がると自然と判るようなこともありますし、経験則で説明するまでもないこともあるかもしれませんが、今後は「?」への対応が、会の活性化につながっていくと考えます。

そのためにも、例会に参加、二次会にも参加して、会員同士で語り合ってください。これこそが、北青会で得ることができる「一番の財産」だと思います。三役や役員は、積極的に、いろいろな会員に話しかけてやってください。こちらから話しかけることで相手も気が楽になります。なるべく、相手に話をさせてやってください。そのような環境を創ってください。繰り返しになりますが、会の歴史は現役が創っていきます。

最後になりますが、私も、北青会百周年のイベントに参加することを楽しみにしています。

51期みんな、ありがとう。上野会長、お疲れ様でした。



お世話になりました  
吉武ますみ  
(事務職員)

43期の2月から事務局に参りまして、8年の歳月が経ちました。

毎年御卒業の方をお見送りする側でしたが、このたび事務局を去る立場となり、その寂しさを今ひしひしと感じています。

当時は、北青会がどのような会なのか、今まで私が経験してきた職場環境とは全く違いましたし、男性ばかりの会員の方々の中で、毎日が戸惑いとサプライズの連続でした。いつまで務まるのか不安でしたが、年間の様々なイベント、社会貢献事業を通して皆さんの熱い無償のボランティア精神に心を打たれ、そしてたくさんの方に助けられ、励まされ、笑いあり、涙あり、感動ありの実に濃い充実した8年間を過ごす事ができました。

特に昨年は東日本大震災という未曾有の大惨事に見舞われ、OB会員のご協力のもと、会員一丸となった復興支援活動をそばで感じ、経験させて頂きました。

北青会との「えにし(縁)」は私にとって財産です。事務局を離れてからも与えて頂いた貴重な経験をこれからの人生に活かしていくつもりです。

最後になりましたが、北青会のなご一層の発展と、皆様のさらなるご活躍とご健勝を陰ながらお祈り致します。8年間、本当にお世話になりました。



## 本田正二（51期）

北青会に入会してから卒業するまでの時間は、私にとって本当にあつという間でした。様々な行事などを通じて、色々な方々に出会う事が出来た北青会。

本当に素晴らしい仲間たちでした。年齢を巻き戻すことができるのなら、もう一度入会をして、もっと皆さんのお役にたてるような事が出来たらと思うと、後悔の気持ちもあります。

ですが、もう年齢を巻き戻すことは無理だと考えると、言いようのない寂しさがこみ上げてきます。

しかし、北青会の一員になる事が出来た事は、これからの私の大きな誇りと自信になることと思います。

「ありがとう、みんな！」

「ありがとう、北青会！」

「バンザイ！ 北青会！」

「さらば！ 北青会！！」

本当に頼りない先輩ではありませんが、何かあれば声をかけて下さい。

みなさん、お体にはお気をつけてください。

北青会の益々のご発展を心よりお祈りしております。



## 三木貴之（51期）

北青会を卒業するにあたり、OB会員の皆様、三役、会員のみなさん、そして51期社会貢献委員会のみなさんには感謝してもしきれません。例えば2年半前、加来先輩と石橋先輩に導かれ入会したのも束の間、会歴1年半足らずで、51期上野会長より社会貢献委員会の委員長に任命していただいたと同時に3・11の悲劇がおきました。居ても立っても居られない心境の中、田中50期会長のもと募金活動が企画され、その日に参加FAXを送ったことを思い出します。その募金活動をしている最中、次期社会貢献委員会の委員長として必ず被災地の為、被災者の為に何かすると誓いました。それからがむしゃらでした。今思えば、9月11日にイベントが出来たのも、その気持ちを忘れずに強い気持ちを持って決して諦めずに初志を貫いたからだと思います。後輩のみんなに伝えたいことは、「自分はこれをした！」と思うことがあれば絶対に最後まで諦めずに貫き通すこと、ただそれは自己満足ではなく、北青会のみんなとともに作り上げること、それに尽きると思います。今の時を会員と共に過ごしていることに感謝し、思いっ切り切磋琢磨して下さい。北青会のみんな本当に有難う。最後に「我が北青会人生に一片の悔いなし。」以上。



## 藤高 健（51期）

北青会では9ヶ月の在籍期間ではありましたが、所属の社会貢献委員会で9・11（東日本復興支援チャリティフェスタ）やヤングサンタなどのイベントを通して貴重な経験をさせていただきました。

また、51期の同期の方々や沢山の後輩から温かく迎え入れていただき、そして、色々なことを気付かせ、学ばせて頂きました。

在籍期間はあまりに短く、大変名残惜しくもありますが、これからは、OBとして精一杯貢献して行きたいとおもいます。

ありがとう、北青会。

これからも、人情味あふれる人々の集まりであって下さい！



## 新事務員さんご紹介

よろしくお願ひします



榎野香織

4月から勤務させて頂いています榎野香織（なぎのかおり）と申します。今までに経験した事のない仕事内容で戸惑ってばかりでうまくいかない所が多々ありますが、一步一步確実に自分のものに出来るようにしていきたいです。

毎日いろいろな方々にお会いしていますが、なかなか顔と名前が覚えられず失礼があったと思います。早く私の方から声をかけられるようにしていきたいです。

前任の吉武さんは経験豊富で、その後を引き継ぐという事で頼りないとは思いますが、北青会の一員として頑張っていきたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願い致します。

# 活 動 内 容

1月

4日(水) 新日本製鐵㈱ 新年賀詞交換会(新日鐵 大谷体育館)  
【入船・上野将之】  
5日(木) 三役会(事務局)  
6日(金) 役員会(事務局)  
6日(金) 北九州商工会議所・(社)北九州貿易協会 新年賀詞交換会  
(八幡ロイヤルホテル) 【入船・上野将之】  
7日(土) (社)福岡北九州社会福祉協議会 新春健康福祉交流会  
(リーガロイヤルホテル) 【入船・上野将之】  
10日(火) 副都心黒崎開発推進会議 常任幹事会  
(黒崎市民センター) 【上野秀信】  
10日(火) 新理事会 (事務局)  
11日(水) 新幹部会 (事務局)  
11日(水) 社会貢献委員会(事務局)  
13日(金) (社)北九州青年会議所 新年祝賀会(リーガロイヤルホテル)  
【上野秀信・入船・坂上・上野将之】  
14日(土) 企画展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者展」  
『科学を支える日本の技術展』オープニングセレモニー 【入船】  
16日(月) (社)北九州中小企業経営者協会 新年祝賀会  
(ステーションホテル) 【入船・上野将之】  
18日(水) OB総会 (八幡ロイヤルホテル)  
18日(水) 新年例会【第604回例会】 (八幡ロイヤルホテル)  
19日(木) 56・58期厄払い準備委員会(事務局)  
20日(金) 黒崎地区中心商店街回遊向上研究会  
(黒崎地区中心市街地活性化協議会会議室)  
20日(金) 味取会(二鶴寿司)  
21日(土) ヤングサタ友省会(スコール)  
29日(日) 厄払い(岡田神社)

2月

1日(水) 現役員・新幹部会(よし竹寿司)  
2日(木) KPECもったいない総研  
(商工貿易会館KPECサロン) 【坂上】  
2日(木) 副都心黒崎開発推進会議 黒崎再生委員会  
(黒崎市民センター) 【上野】  
3日(金) 黒崎地区中心市街地活性化協議会 幹事会  
(黒崎市民センター) 【上野】  
4日(土) 北九州シニアネットワークアカデミー  
第23年度生涯現役夢追器「公開夢語り」(ウェルとばた) 【阿部】  
6日(月) 八幡夢みらい協議会 幹事会(東区役所) 【上野】  
7日(火) 副都心黒崎開発推進会議 常任幹事会  
(黒崎市民センター) 【上野】  
8日(水) 第605回 例会(千草ホテル)  
9日(木) 北青会第4回ゴルフ会(小倉カンツリー倶楽部)  
10日(火) 新理事会(事務局)  
11日(水) 新幹部会(事務局)  
15日(水) 福岡ひびき経営大学「時流と小売業」(福岡ひびき信用金庫)  
16日(木) 福岡ひびき経営大学「時流と小売業」(福岡ひびき信用金庫)  
18日(土) 聖小崎冬のイベント (聖小崎ホーム)  
20日(月) 味取会 (喰い編や)  
21日(火) 北九州国際センター2011実行委員会  
(西日本工業大学) 【上野】  
21日(火) 新入会員オリエンテーション(朝菜タケ)  
23日(木) 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会  
(ウェルとばた) 【阿部】  
23日(木) まつり起業祭八幡 実行委員会(大谷会館)【伊藤】  
23日(木) 地域防犯パトロール(黒崎ベディストリアンデッキ集合)  
28日(火) (社)北九州中小企業経営者協会 進歩自由夢  
(北九州市立男女共同参画センター)  
講演会「人口の波・金融の波から『北九州』の明日を予測する」  
28日(火) 北九ネットまちづくり合同会社創立記念祝賀会  
(ホテルクラウンパレス北九州) 【入船】

3月

2日(金) 八幡みらい協議会幹事会(福岡ひびき信用金庫) 【上野】  
3日(土) 北九州市立長寿者研修大学校周望学舎・六生学舎修了式  
(八幡市民会館) 【阿部】  
6日(火) 三役会(事務局)  
6日(火) 副都心黒崎常任幹事会 黒崎市民センター 【上野】  
7日(水) 役員会(事務局)  
6日(火) 献血ウィーク (北九州赤十字センター)  
9日(金) (公財)北九州活性化協議会 理事会(商工貿易会館) 【上野】  
9日(金) 福岡ひびき経営大学 運営委員会(福岡ひびき信用金庫) 【入船】  
10日(土) 第回ゴルフ会(持ち出しゴルフ会)・取り切り戦  
11日(日) ツリ (パブリックブルー&リゾート国東)  
13日(火) 新理事会 (事務局)  
14日(水) 新幹部会 (事務局)  
14日(水) 八幡の夢・未来に乾杯!! 交流会(大谷会館) 【上野・渡部圭三】  
17日(土) (公財)北九州活性化協議会 環境「もったいない」作文の表彰式  
【上野・坂上・中野】  
18日(日) クリーンアップ大作戦  
19日(月) 味取会 (鳥平)  
23日(金) 黒崎地区中心商店街回遊性向上研究会(黒崎市民センター) 【入船】  
23日(金) 最終例会 (第606回 例会) 千草ホテル  
24日(土) 国道3号黒崎バイパス建設促進期成会「皇后崎ONランプ」  
「前田ランプ」黒崎ONランプ開通記念ウォーク【入船】  
26日(月) 黒崎まちづくり元氣塾派遣研修者報告会  
(黒崎市民センター) 【入船・福島】  
27日(火) 新広報委員会(黒崎)  
27日(火) 新活性化委員会(小倉)  
28日(水) (財)北九州国際交流協会理事会(国際村交流センター) 【入船】  
29日(木) 黒崎地区中心商店街回遊性向上研究会(黒崎市民センター) 【入船】  
29日(木) 福岡経済産業交流会【入船】  
29日(木) 起業家おどり実行委員会 (八幡東区役所)  
30日(金) 現活性化委員会  
30日(金) 現三役打上

## 51期北青会 東日本大震災復興支援事業 被災地釜石市訪問を終えて

51期会長 上野 秀 信



3月25日から一泊二日の日程で、東日本大震災の被災地である釜石市へ、当会の震災復興支援事業により北九州市民から御預かりした義捐金を届ける為に、51期卒業メンバーの同期5名、上野、伊藤、三木、本田、藤高で訪問して参りました。

釜石市までの往復総移動距離は2,700キロ、道のりは福岡より飛行機にて仙台空港に2時間掛けて移動、仙台空港より、目的地釜石市まで車で約200キロ以上の移動となりました。25日の日曜日は仙台空港から釜石市までの道中、津波による被災地各所を訪問させていただきました。

まず、被災された地に足を踏み入れた瞬間に、一同絶句でした。

私達51期一同が被災地を訪れるのは初めてのことで、報道などでは知っていたものの、その現実を目の当たりにして：折れ曲がった電柱、ガードレール、壊れ果てた住居、事業所、商店ビル、学校、波を打った地面、またその場所に置かれている献花、その場所には以前人々が住み、日常生活を送っていたことでしょうか。

家族が、仲間がそこに集い、会話や笑顔があったであろうその場所、本当に言葉では表せない現実がそこにありました。場所によっても違いますが、沿岸域は被災されたままの場所、瓦礫を片付けた場所、釜石市までの道のり200キロのいたるところで、震災後1年が経った今ですが、膨大な地域を津波がのみこんで行き、人々の命、家族、生活、全てを奪って行ったことが感じ取れました。特に印象深いのが、瓦礫の山でした。北九州各市も瓦礫の受け入れ検討を始めましたが、市民の色々な意見が今議論されています。

その反面、震災から1年が経ち、綺麗に片付けられた土地だけの広大な地域、元の生活が出来る場所にする為には、膨大な人力やお金、時間が掛かるのではないのでしょうか。

そして夜、私達は被災地釜石市内で地域の方の生の声を聞きたいの思いもあり、釜石市にて夕食を頂くこととしました。

しかし、被災後再開しているお店は10軒程しかなく、中には再開後に閉店されたお店もあるようでした。

そんな中、津波で半壊したにも関わらず「地域の復興の為に」と、昨年10月頃営業を再開された一軒の食事処に入り、お店の方とお話させていただくことが出来ました。

また店内では地元の方や場所が釜石と言う事もあり製鉄関係の方とも交流することが出来ました。

地元の方々とお話しした中で、私達の心に焼き付いて離れない言葉が有りました。

「震災は仕方ない、ここで生きていかなければならない」と：(しかも笑顔で元気に)

また、鮮魚店のご老人は、「津波に持っていかなかった、娘も、孫も」と：

家族を奪った海、でもその恩恵を受けている街、一部の偏見で漁師の方も風評被害を受けて苦しんでおられると聞きました。

しかしこの街でこの場所です元々の活気ある釜石に戻ることを願ひ、懸命に働かれていますその姿に私達は逆に励まされたような気持ちになり、勇気付けられました。

料理の方は、さすが海の街釜石市、地元で獲れた新鮮な魚介類を美味しくいただきました。

そして3月26日、私たちは釜石市役所を訪問し、義捐金1,805,604円をお渡ししました。

私達は、釜石市のみならず被災された地域の方々が元の笑顔で暮らせる街に戻るその日まで、3月11日の光景を決して忘れてはなりません。

先に述べました通り、被災された皆様が、途轍もない悲しい出来事があり、言葉では言い尽くせない尊いものを失いながらも、あの場所です一生懸命に生きていく、そう決めた姿に、遠く離れた北九州からではありますが、日本国民として私達北青会が社会貢献事業の一貫として、引き続き被災地の皆さんの支援をして行くべきだと考えます。

最後になりますが、51期体制の1年間北青会震災復興事業に賛同し御協力頂きました北九州市民の皆様方、北青会関係諸団体の皆様方、北青会OB会会員の皆様方、北青会会員の皆さん、会員御家族皆様方、会員企業の皆様方には改めて御礼申し上げます。

本当にありがとうございます。



## 編集後記

いよいよ52期がスタートしました。

これから一年間、会の事業を会内外に、全力で発信してまいります。

どうぞ一年間、よろしくお願い致します。

52期 広報メディア委員会